ニュースリリース

2026 年 11 月 11 日

関係各位

センチュリー・システムズ株式会社
代 表 取 締 役　　田 中　　邁

セイコーインスツル社製センサーノードに対応
コンテナ対応 Linux で、安全な長期運用を支える IoT ゲートウェイ
FutureNet MA-S120/LM 発表のご案内

センチュリー・システムズ株式会社（本社：東京都武蔵野市、代表取締役：田中邁、以下：センチュリー・システムズ）は、セイコーインスツル株式会社（以下：SII）製の 920MHz 帯特定小電力無線モジュールを搭載した Linux ベースの IoT ゲートウェイ **FutureNet MA-S120/LM**（以下：**MA-S120/LM**）を発表いたします。

MA-S120/LM は、SII の無線センサーネットワーク「ミスター省エネ」シリーズのセンサーノードから送信されるデータを受信し、お客様独自の監視・制御システムやクラウド環境へ中継するためのプラットフォームです。920MHz 帯無線と、コンテナを活用できる Linux アプリケーション実行環境を組み合わせることで、既存設備を活かしながら、現場ごとの要件に合わせた IoT システムを構築できます。さらに、脆弱性対応や SBOM 管理など、長期運用を見据えたソフトウェア管理にも対応し、長期にわたる安全な運用を支援する IoT プラットフォームとして活用できます。

LTE、Ethernet、RS-232、RS-485、DIO などのインタフェースを備え、無線センサーだけでなく既存の有線設備からのデータ収集も 1 台に集約できます。また、-20℃～+60℃の広温度範囲、DC9V～36V の変動電源対応、ファンレス設計、低消費電力のスリープ機能を備え、工場、ビル設備、インフラ、研究施設など幅広い現場での導入を支援します。



FutureNet MA-S120/LM 外観

製品概要

MA-S120/LM は、920MHz 帯の無線センサーネットワークと、コンテナを活用できる Linux ベースのアプリケーション実行環境を一体化した IoT ゲートウェイです。SII 製センサーノードから受信したデータを、用途に応じて加工・判定し、LTE または Ethernet 経由で監視システム、データベース、クラウドなどへ送信できます。

既存のクラウドサービスに固定されず、ユーザー側のシステム仕様に合わせて連携アプリケーションを開発・実装できる柔軟性に加え、脆弱性対応や SBOM 管理など、長期運用を見据えたソフトウェア管理にも対応します。データ収集から通信、現場側処理までをコンパクトな 1 台にまとめ、安全で継続的な運用を支援する IoT プラットフォームとして活用できます。

主な特長

SII 製 920MHz 帯無線センサーノードの受信に対応

SII 製の 920MHz 帯無線通信ボードを内蔵し、「ミスター省エネ」シリーズの各種センサーノードから送信されるデータを受信できます。温湿度、照度、CO2、電力、振動、パルスなど、設備・環境監視に必要なデータの無線収集に活用できます。

- 920MHz 帯無線により、工場やビル設備などの現場でセンサーデータを収集
- 配線工事を抑えたセンサー追加が可能で、既存設備の IoT 化を段階的に拡張
- SII 製センサーノードと組み合わせ、省配線・長期運用を想定した監視システムを構成

コンテナ対応 Linux 環境とソフトウェア管理で長期運用を支援

Linux ベースのアプリケーション実行環境を備え、コンテナを活用したアプリケーションの導入・運用に対応します。お客様の要件に合わせたデータ処理や通信アプリケーションを柔軟に実装できるだけでなく、脆弱性対応や SBOM 管理など、長期運用を見据えたソフトウェア管理を支援します。

- コンテナを活用したアプリケーション実行環境
- 既存の監視・制御システム、クラウド、データベースとの柔軟な連携
- ソフトウェア脆弱性への継続的な対応
- SBOM を活用したソフトウェア構成管理

LTE と豊富なインタフェースで現場データを 1 台に集約

LTE Cat.4、Ethernet、RS-232、RS-485、DIO を備えています。無線センサーだけでなく、既存の計測器、制御装置、接点信号などのデータを収集し、上位システムへ中継できます。

- LTE Cat.4 マルチキャリア対応モジュールを搭載
- 10BASE-T/100BASE-TX Ethernet ×1
- RS-232 ×1、RS-485 ×1
- 接点入力 4CH、接点出力 2CH
- SD カードスロット、USB コンソールを搭載

産業用途に適した広温度対応・変動電源対応・低消費電力設計

小型・ファンレスの筐体に、-20℃～+60℃の動作温度範囲と DC9V～36V の幅広い入力電圧に対応し、さらに、用途に応じて待機電力を抑えるスリープ機能を利用できます。

システム構成イメージ



主な用途

- 工場・倉庫の温湿度、CO2、照度などの環境モニタリング
- ビル設備のエネルギー管理、電力計測データの収集
- 製造設備やインフラ設備の稼働監視・状態監視
- 振動・パルス等を利用した設備保全、予防保全
- 研究施設や試験設備でのデータ収集・遠隔監視
- 既存監視システムへの無線センサー追加による段階的な IoT 化

活用イメージ

既存システムを活かした IoT 化

MA-S120/LM は、SII 製センサーノードから受信したデータを、Linux アプリケーションで用途に応じて加工し、既存の監視・制御システムやクラウド、データベースへ連携できます。

既存システムの仕様に合わせてデータ形式や送信条件を調整できるため、システム全体を大きく変更することなく、無線センサーを追加した段階的な IoT 化が可能です。

無線・有線データを 1 台に集約

SII 製センサーノードに加え、RS-232、RS-485、DIO を利用して既存の計測器や設備からもデータを収集できます。

収集したデータのフィルタリング、集約、しきい値判定などを **MA-S120/LM** 上で行い、必要なデータだけを LTE または Ethernet 経由で上位システムへ送信する構成が可能です。

SII「ミスター省エネ」シリーズとの組み合わせ

SII の「ミスター省エネ」シリーズは、工場やオフィスビルなどでの環境・エネルギー監視に利用できる無線センサーネットワークです。**MA-S120/LM** は、同シリーズのセンサーノードからデータを受信し、お客様独自のシステムへ連携するゲートウェイとして利用できます。

※「ミスター省エネ」は、セイコーインスツル株式会社の登録商標です。

「ミスター省エネ」シリーズの各種センサーノードと組み合わせて利用できます。以下に一例をご紹介します。



SW-4210-1202
温湿度ノード



SW-4240-1000
パルスカウントノード



SW-4220-1010
人感ノード



SW-42D0-1000
電流センサノード



SW-42B0-1000
リモート I/O ノード



SW-42F0-1000
振動センサノード

基本仕様

CPU	Microchip ATSAMA5D26（ARM Cortex-A5、500MHz）
メモリ	512MByte DDR3L-SDRAM
ストレージ	5GByte eMMC 5.0 MLC（Enhanced mode）
920MHz 帯通信	SII 製 920MHz 帯特定小電力無線通信ボード
モバイル通信	LTE Cat.4、Quectel EC25-J（マルチキャリア）
Ethernet	10BASE-T ／ 100BASE-TX ×1
シリアル	RS-232 ×1、RS-485 ×1
I/O	DI 4CH、DO 2CH
SD カード	SD カードスロット ×1
電源電圧	DC9V～DC36V
消費電流（DC12V）	最大：約 430mA ／ 待機：約 97.5mA スタンバイ：約 29.5mA ／ シャットダウン： 約 1.4mA
動作温度・湿度	-20℃～+60℃、10%～90%RH（結露なきこと） ※ファンレス
外形寸法	幅 137.0mm × 奥行 93.0mm × 高さ 32.0mm（突起物除く）
規制・認証	VCCI Class A IEC 61000-4-2 ／ 4-3 ／ 4-4 ／ 4-5 ／ 4-6
耐振動性	JIS D1601 1 種 A 種 ／ JIS D1601 2 種 A 種 ／ JIS E4031 2 種 B 種 JIS D1601 3 種 D 種 段階 90 ／ JIS C60068-2-27 500m/s² 11ms 正弦半波

※仕様は予告なく変更になる場合があります。

販売・価格

価格：オープンプライス

販売開始：2027 年初旬 予定

オプション：

- AC アダプタ（0℃～+40℃対応）
- 温度拡張版 AC アダプタ（-20℃～+60℃対応）
- LTE アンテナ各種
- 920MHz 帯アンテナ（SII 製センサーノード通信用アンテナ）
- DIN レール取付金具
- ブラケット
- マグネット

センチュリー・システムズ株式会社について

センチュリー・システムズは、エンタープライズから組み込み、IoT/M2M システム開発等ネットワーク分野を中心に、ハードとソフトの開発を行う開発会社です。**FutureNet®**ブランドでの自社製品の提供を中心として、製品のカスタマイズや新規開発を含む受託開発、OEM 提供、ASP・クラウドサービス（**WarpLink®**)の提供をしています。受託開発では M2M、センサネットワーク、遠隔監視制御、高信頼ネットワーク、専用ゲートウェイ等の装置/システム開発や通信プロトコルのライセンス提供等で幅広い実績を持っています。

会社名	：	センチュリー・システムズ株式会社
所在地	：	東京都武蔵野市境 1-15-14 宍戸ビル
代表者	：	代表取締役　田中　邁
事業内容	：	ネットワーク製品ブランド FutureNet シリーズの開発・販売、製品のカスタマイズ、OEM 提供、IoT/M2M システム開発、受託開発、コンサルティング、ASP・クラウドサービス

● お問い合せ先

ご質問、お問い合わせは弊社営業部までお願いします。

なお、ニュースリリースに掲載されている情報は、発表日現在の情報です。その後予告なしに変更されることがございますので、あらかじめご了承ください。

電話　0422-37-8112　　FAX　0422-55-3373

電子メール　press-release@centurysys.co.jp　　ホームページ　https://www.centurysys.co.jp/

以上、何卒よろしくお取り計らいの程、お願い申し上げます。

・　「FutureNet®」、「WarpLink®」 はセンチュリー・システムズ株式会社の登録商標です。

・　その他、文中の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標、サービス名称です。